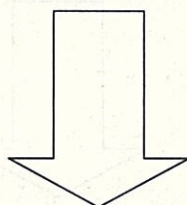


平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	東区民まつりの開催【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	東区民まつりは、東区まちづくりビジョンの基本方針の一つである「人と人とがつながり世代を越えて語り合えるまち」をめざし、区内における様々な地域団体、学校等が参加協力して区民相互の交流と親睦を深め、区民の連帯感やふるさと意識の醸成を図ることを目的として開催している。	
過去の取り組み状況・課題	本市が政令指定都市に移行した翌年度の平成25年度から毎年11月に開催しているが、区民主体による自主自立のまちづくりを進めるにあたっては、区民や団体、企業等が協力・連携し、それぞれが主体的に取り組んでいく必要がある。 そのような中、企画運営全般を行政主導で行っていることから、区民主体のまちづくりを推進していくにあたっては、区民等が企画立案の段階から積極的に参加できる形に方向転換していく必要がある。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①今年度は実行委員会を設置し、区民をはじめ地域団体、学校、企業、区役所等がそれぞれの立場で、東区民まつりに主体的に参画できる環境を整備していく。 ②開催場所及び規模等について検討する。	

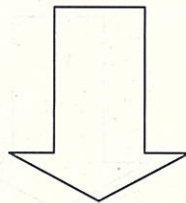


見直しの考え方	【基本方針】イベントなどは、必要な見直しを行う。 熊本地震からの復旧・復興の気運を高めるためにも本事業を実施すべきであると考えているが、震災対応を優先するため今年度の実行委員会設置及び開催時期を延期するとともに規模を縮小し、来年度以降の実行委員会設置に繋がる体制で実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	①実行委員会の立ち上げに必要な構成員の選定を含め、スケジュール的に間に合わないため、来年度以降に設置することとし、今年度は来年度に繋がる体制（可能な限り住民主体）を検討する。 ②開催場所及び規模については、東区役所で規模を縮小して来年1～2月を目処に開催する。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	東区未来会議の開催【新規】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	東区まちづくりビジョンの推進に向けて
	重点的テーマ	推進体制
現状・背景・地域ニーズ	東区では、東区まちづくりビジョンを指針として、区民と協働でまちづくりを進めていくこととしている。 これを実効性のあるものとするためには、区民自らが区政に関心を持ち、東区のまちづくりの指針であるこのビジョンを共有し、区政に対し、意見・提案を行う必要がある。	
過去の実施状況・課題	第1期モニター登録者の任期満了に伴い、若い世代（学生～子育て世代）を対象に第2期モニターを募集したが、応募が少ない状況となっておりモニターからの意見・提案の聴取が困難となっている。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	<u>今年度はモニター登録者としての再募集は行わず、「学生」「子育て世代」等の対象を定め、ピンポイントで会議を開催し区政に対する意見・提案を行う。</u>	

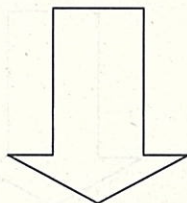


見直しの考え方	【基本方針】新規・拡充事業（単独事業）は、原則として中止・凍結する。 東区未来会議については、基本方針に基づき来年度以降の開催とする。	
今年度実施予定事業内容（地震後）	<u>今年度の開催は中止とする。</u>	

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	地域情報受発信充実事業【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	行政は、市政だよりやホームページなどの広報媒体を使い、また、地域でも自治会回覧や町内掲示板などにより、住民に情報を提供しているが、それらの情報は区民にうまく伝わっていない現状にある。 区政や地域のまちづくりを推進していくためには住民との情報共有が不可欠であり、情報提供のあり方について検討する必要がある。	
過去の取り組み状況・課題	・「ひがっぴいだより」については、「見やすくなった」、「友人にあげたい」等の評価を少しずついただいている。しかし、評価されるのは高齢者が主であり、また大学生・高校生は存在を知らないとの意見もある。 ・若年層の情報収集方法については、興味のあるものを除いては、webで入ってくる情報や口コミであることから、若年層へ届く情報発信方法の検討が必要である。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①区の広報の充実 年代層に応じた広報媒体で情報提供の効率化を図る。 ②東区だより（ひがっぴいだより）区民である広報サポーターと協働で年4回発行。 ③広報サポーター事業 <u>区民向け広報講座を行い、Facebook などにも興味を持っていただく仕掛けを行う。</u>	

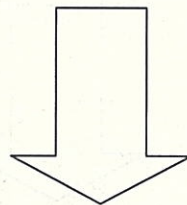


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 ・今年度は、東区ホームページをより多くの人に見ていただけるように見直しを行い、広報サポーター事業については、熊本地震の影響を考慮しながら可能な事業を行う
今年度実施予定事業内容（地震後）	①区の広報の充実 東区ホームページの見易さと扱いやすさを見直し情報提供を図る。 ②東区だより（ひがっぴいだより） 区民である広報サポーターと協働で<u>年1～2回発行。</u> ③広報サポーター養成事業については、<u>平成29年度に実施する。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	地域防災合同訓練事業【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	3 災害に強いまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	校区で行う防災訓練を支援しているが、実施校区の固定化が見られ、過去に実施したことのない校区も新たに行うことが望ましい。	
過去の取り組み状況・課題	過去に訓練を実施したことのない校区に対して、そのノウハウや実施することによる効果を伝える場がなかったため、実施内容や準備などの方法が分からないことが、新規に取り組む校区が少ない原因の一つと考えられる。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①防災訓練を行う校区の支援を行う。 ②防災意識の啓発・高揚を図るため、東区内の自治協の構成団体等を対象に、研修会（勉強会等）を開催する。内容としては校区防災訓練をすでに実施している校区の自主防災クラブ会長などから、準備の方法や過去の問題点、実施後の効果などの事例発表を予定。	

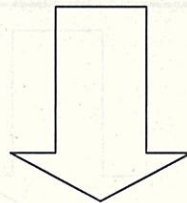


見直しの考え方	【基本方針】 継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 今回の震災時における反省を踏まえ同規模の震災が起きることを想定した訓練を希望する校区を対象に実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	①防災訓練を行う校区の中で、 <u>同規模の震災が起きることを想定した訓練内容について支援を行う。</u> ②研修会については、「熊本地震の検証及び熊本市地域防災計画改定検討委員会」における検討結果を踏まえ、 <u>来年度以降に実施する。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	子どもの遊びプランナー養成事業【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	子どものところに自然に触れた、友達と体を使って遊んだ、地域の大人たちと接したなどの経験が多い者ほど、大人になってからの「意欲・関心」「規範意識」「職業意識」が高いという調査結果が報告されている中、ゲームやインターネットに夢中になり、外で遊ばなくなっている。	
過去の実施状況・課題	子どもたちの遊び場作りプロジェクトを東区民及び東区職員で構成し、来年度に向けたモデルプラン作りを行った。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	昨年度作成したモデルプランを元にプロジェクトメンバーで実際に体験し、その体験を元に夏休みと秋ごろに「東区あそびの日」として大人には懐かしく、子どもたちには新鮮な遊びを提供する。	

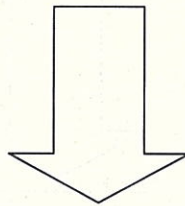


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 被災した子どもたちの心のケアを行う。
今年度実施予定事業内容（地震後）	昨年度作成したモデルプランを元にプロジェクトメンバーで内容及び時期を再度検討し、「東区あそびの日」として大人には懐かしく、子どもたちには新鮮な遊びをプロジェクトメンバーと協働で実施する。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	東区の七不思議発掘事業【新規】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進 3 地域の歴史・文化の活用
現状・背景・地域ニーズ	平成27年9月5日（土）に「東区中学生による未来会議」を開催し、6校11名の参加があり、ワークショップ形式による意見交換を行なった。 まちの活性化のため、もっと東区の魅力を外に発信したい旨の意見があり、その中で「東区の七不思議を作ると面白い」との意見があった。	
過去の取組み状況・課題	新規事業のためなし	
今年度実施予定事業内容（地震前）	<u>東区中学生による未来会議修了者を「東区未来クリエイター」として認定し、アンケート調査やまちづくり関連行事の案内等、継続して東区のまちづくりに関する協力依頼を行っていくことにしており、その第1弾として「東区の七不思議発掘事業」に携わってもらう。</u>	

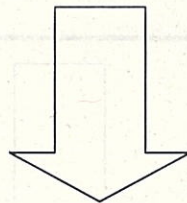


見直しの考え方	【基本方針】新規・拡充事業（単独事業）は、原則として中止・凍結する。 東区の七不思議発掘事業については、基本方針に基づき来年度以降に先送りとする。
今年度実施予定事業内容（地震後）	<u>今年度の取組みは中止とする。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

総務企画課

事業名	まちづくり懇話会開催経費【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	東区まちづくりビジョンの推進に向けて
	重点的テーマ	推進体制
現状・背景・地域ニーズ	区民の参画によって、東区のまちづくりビジョンに基づく区の特性を生かした街づくりに関する事項について協議を行い、区民と区役所の協働により、暮らしやすいまちづくりを推進する。	
過去の取り組み状況・課題	平成25年度よりまちづくり懇話会委員から東区のまちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議し、その結果を東区長に報告している。	
今年度実施予定事業内容 (地震前)	<u>年5回まちづくり懇話会開催し、来年度に向けたまちづくり事業を協議していく。</u>	

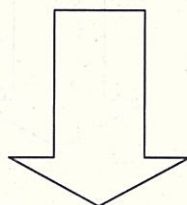


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 まちづくり懇話会の開催回数を4回とする。
今年度実施予定事業内容 (地震後)	<u>まちづくり懇話会の開催回数5→4回へ。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

まちづくり推進課

事業名	地域コミュニティづくり支援補助金【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	2 地域団体の育成・支援
現状・背景・地域ニーズ	地域では、様々な団体間の連携・調整を図りながら、まちづくり活動に主体的に取り組んでいるが、防犯・防災、環境美化や子育て支援、高齢者福祉等の具体的な地域課題の解決に向けた活動に取り組もうとしても、資金の不足から難しい状況がある。これら、地域課題解決への取り組みや特色を活かしたまちづくり活動を支援するための新たな制度として創設された（5区共通）。	
過去の実施状況・課題	平成26年度に補助対象団体を拡充し、より多くの地域団体が活用できるよう見直しを行ったところであり、当面は現在の制度の周知を図り活用を促していく。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	校区自治協議会、町内自治会等が主体的かつ継続的に行う環境・子育て・防犯防災など地域の身近な課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みに対し補助金を交付する。	

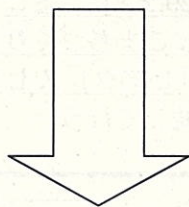


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 実施時期を通常より遅らせて実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	実施時期を遅らせて着手した。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

まちづくり推進課

事業名	地域課題検討会改善策実施経費【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	東区まちづくりビジョンの推進に向けて
	重点的テーマ	推進体制
現状・背景・地域ニーズ	平成24年度に東区の18校区自治協議会へ聞き取り調査を実施し、地域が抱える5つの課題「ごみマナー」「地域団体の人材育成」「地域活動への理解促進及び新旧住民の交流」「団体の情報提供」「地域団体以外とのネットワークづくり」を抽出し、この課題の改善に向けた取り組みを実施することとなった。	
過去の取り組み状況・課題	モデル地区で取り組んだ内容について、他の地域にも拡大していくよう周知を図り今後、地域が主体的に取り組んでいけるようアドバイザーの派遣等を行う。 また、地域団体以外の活動情報を収集し地域へ発信するとともに、団体のネットワーク化と団体間のコーディネート機能の構築を図る。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	過年度に地域課題検討会において検討した課題の改善策に取り組む団体に「 <u>ごみマナー</u> 」「 <u>人材育成</u> 」「 <u>地域活動への理解促進及び新旧住民の交流</u> 」「 <u>団体の情報提供</u> 」のテーマから支援を行う。	

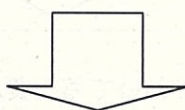


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 対象団体を絞り実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	過年度に地域課題検討会において検討した課題の改善策に取り組む団体のうち、 <u>震災を踏まえて課題に取り組む団体を絞り込み支援を行う。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

まちづくり推進課

事業名	東区民文化スポーツ交流事業【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を超えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1-1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	東部地区サッカー大会を基盤に 18 校区を対象に東区小学校交流サッカー大会を H25 年度から開催している。 また、H26 年度からは体協と共催によるミニバレーボール大会の開催や、地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」へ区長賞（賞状、盾等）の提供を行っている。	
過去の取り組み状況・課題	サッカー大会は H25 年度から 3 回（H25.8.10、H26.2.14、H28.2.11）、ミニバレーボール大会は H26 年度から 2 回（H26.10.26、H27.10.25）開催している。また、大会開催にあたっては、全 18 校区が参加できるよう早い時期に打合せ会議を実施し、開催時期やスケジュールの調整を行っている。 地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」への区長賞（賞状、盾等）の提供も継続して行っている。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	① <u>サッカー大会は H29.2.4 に、ミニバレーボール大会は H28.10.30 に開催する。</u> ② <u>地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」への区長賞（賞状、盾等）の提供も継続して行う。</u>	

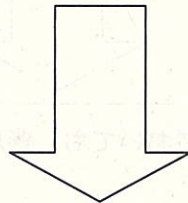


見直しの考え方	【基本方針】イベントなどは、必要な見直しを行う。 サッカー及びミニバレーボール大会の会場が地震被害のため年度内使用できない。 地域主催の大会は地震の影響で中止されるものがあるため個別に対応する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	① <u>サッカー大会及びミニバレーボール大会については、今年度は中止とする。</u> ② <u>地域主催の大会については、実施されるものについては例年どおり区長賞（賞状、盾等）の提供を行う。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

まちづくり推進課

事業名	安全安心のまちづくり事業（交通安全）【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	2 交通安全対策の推進
現状・背景・地域ニーズ	東区内の交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、子どもや高齢者の事故が全体の約 1/4 を占めている状況にある。 また自転車の利用状況を見ると、「右側通行」や、傘差し、携帯・イヤホン使用などの「ながら運転」が目立ち、安全運転に対する意識が低い。	
過去の取り組み状況・課題	車や自転車の安全利用に対する区民意識を高めることを目的として啓発キャンペーンや街頭広報を継続的に行っている。 特に中高生の自転車マナーの向上を図るため、高校（区内4校）の生徒会と協力して啓発活動を行っている。 また、東区民まつりにおいて交通安全の啓発ブースを設置し広く区民に広報啓発を行っている。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①昨年同様、車や自転車の安全利用に対する区民意識を高めることを目的として啓発キャンペーンや街頭広報を継続的に行っていく。 特に中高生の自転車マナーの向上を図るため、高校（区内4校）の生徒会と協力して啓発活動を行う。 ②東区民まつりにおいて交通安全の啓発ブースを設置し広く区民に広報啓発を行う。	

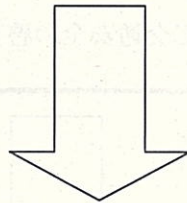


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 地震の被害や震災対応で一部影響がある事業（街頭パトロールの一時停止など）があるものの、震災対応の落ち着きとともに可能な限り実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	①街頭パトロールは、<u>秋以降</u>に行う。 ②東区民まつりにおいて交通安全の啓発ブースを設置し広く区民に広報啓発を<u>予定どおり</u>行う。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

まちづくり推進課

事業名	安全安心のまちづくり事業（防犯）【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	1 防犯活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	東区の刑法犯認知件数は年々減少傾向にはあるが、その内約 3/4 は自転車盗・オートバイ盗・車上ねらい等の窃盗犯が占めている。 また、高齢者を狙った詐欺やひったくり等の犯罪も区民の安全な日常生活を脅かしている。	
過去の取り組み状況・課題	区民の防犯意識の向上と犯罪抑止を図るため、東警察署及び校区防犯協会と連携を取りながら、青パトによる防犯パトロールや広報啓発を行っている。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	昨年同様、区民の防犯意識の向上と犯罪抑止を図るため、東警察署及び校区防犯協会と連携を取りながら、青パトによる防犯パトロールや広報啓発を行う。	

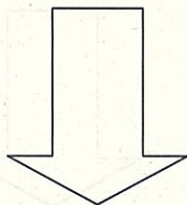


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 地震の被害や震災対応で一部影響がある事業（防犯パトロールの一時停止など）があるものの、震災対応の落ち着きとともに可能な限り実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	昨年同様、区民の防犯意識の向上と犯罪抑止を図るため、東警察署及び校区防犯協会と連携を取りながら、青パトによる防犯パトロールや広報啓発を <u>秋以降</u> に行う。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

まちづくり推進課

事業名	託麻三山散策ウォーキング【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人とがつながり世代を超えて語り合えるまち 3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1-1 地域コミュニティ活動への参加促進 3-1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	地域の歴史・文化・自然に対する区民の関心は高く、それぞれの地域で様々な活動が行われているが、より広く交流が深まるような取組みを実施する。	
過去の実施状況・課題	東区内の小学生から高齢者までを対象にして、地域の自然や歴史とふれあうことができるウォーキングイベントを開催している。(H27年度は「フットパス in 秋津」を実施)	
今年度実施予定事業内容(地震前)	たくま三山会やたくま八十八箇所めぐり実行委員会の協力のもと、東区内の小学生から高齢者までを対象にして、託麻三山(小山山、神園山、戸島山)の史跡、文化、自然とふれあいながら、地域の歴史に対する意識を深める託麻三山散策ウォーキングを実施する。	

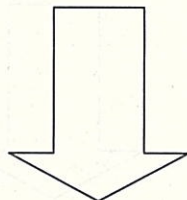


見直しの考え方	【基本方針】 イベントなどは、必要な見直しを行う。 地震の影響によるウォーキング経路(山中の自然道等)の安全確認ができていないため、来年度以降に実施する。
今年度実施予定事業内容(地震後)	<u>今年度の事業は中止とする。</u>

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

福祉課

事業名	高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	みんなで助け合う福祉のまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	高齢化を背景に、認知症を有する人も増えており、声かけや見守り、介護状態になることをできる限り防ぐという取り組みの必要性が高まっている。	
過去の取り組み状況・課題	・認知症に対する理解浸透 H26、27年度はそれぞれ西原校区、長嶺校区において徘徊模擬訓練を実施。徘徊模擬訓練事業を通し、「地域住民が認知症に対して正しく理解する」ことの重要性が明らかとなる。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	認知症に対する正しい理解と、認知症の方とその家族を地域で支える体制づくりを目的とした「認知症についての研修会」（全体1回、小規模18校区）の開催。 ① 東区シンポジウムの開催（全体研修） <u>平成28年度上半期</u> ② 18校区研修会（講演会） ①終了後順次実施	

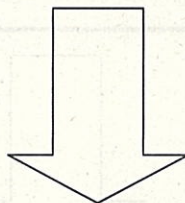


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 当初上半期に開催予定であった、東区民対象の研修会（講演会）を10月に変更し、研修会（講演会）後開催を予定している18校区での認知症サポーターフォローアップ研修会についても、実施可能な校区より順次開催する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	① 東区シンポジウムの開催 「ありのままに生きる」～認知症になっても私らしく～ 日時 <u>10月22日（土）</u> 14:00～16:30 会場 熊本県立大学総合管理学部大ホール ② 認知症サポーターフォローアップ研修会を<u>2月ごろ</u>開催予定。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

保健子ども課

事業名	子育てマップ活用による子育て支援ネットワーク活性化事業【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	少子化および核家族化に伴い、子育て世代の孤立化が増加している。 住み慣れた地域で安心して子育てができるまちづくりを目指して、校区単位の子育て支援ネットワーク組織を育成し、子育て支援活動を行っているところであるが、更なる子育て支援活動の充実や子育て情報発信の充実が望まれる。	
過去の実績・状況・課題	・平成27年度、子育て支援ネットワークの活性化を目的に、各校区ネットワークにおいて子育てマップ作成に取り組み、18校区全てに子育てマップが完成。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①H27年度作成した地図の裏面に各校区の子育て支援ネットワーク活動の紹介や子育て支援情報を掲載したマップを作成、印刷する。 ②ネットワーク活動の取組の共有化を目的に「子育て支援ネットワーク活動事例集」を作成する。 ③東区ホームページに子育てマップや子育てサークル情報を掲載する。 ④ネットワークの更なる活性化を目的とした先進地視察を行う。	

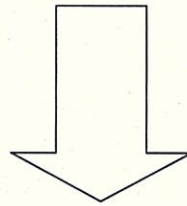


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 ・子育て支援ネットワーク活動事例集については来年度以降に先送りし、その他の業務については可能な限り実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	①子育て支援ネットワーク活動事例集の作成については、<u>今年度は中止</u>する。 ②子育てマップについては、予定どおり実施する。 ③子育てマップや子育てサークル情報については、予定どおり実施する。 ④先進地視察については<u>中止</u>する。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

保健子ども課

事業名	東区健康まちづくりサポーター養成事業【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	少子高齢化の進展や住民の生活スタイルの多様化に伴い、生活習慣病予防・介護予防の必要性が高まっている。住み慣れた地域で生涯健康でいきいきと暮らし、子育て世代・壮年期・高齢者等それぞれの世代に応じた対応や働きかけが求められている。平成24年度から小学校区単位の健康まちづくり事業の推進に取り組んでいる。	
過去の実施状況・課題	・18校区全てに、健康まちづくりを推進するサポーター養成を目指し、養成講座を開講。修了生18校区74名 ・サポーターによる健康増進の取り組みや啓発を継続していくため、サポーターの継続的な活動の場や、活動促進の仕組みが必要である。	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①健康まちづくりサポーター養成講座を開催する。 ②平成27年度に設立した「健康まちづくり推進員協議会」の運営支援を行う。 ③健康まちづくり推進員の活動の支援を行う。（各校区での活動を計画的に行う）	

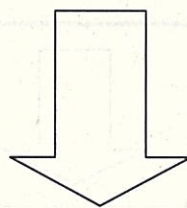


見直しの考え方	【基本方針】継続事業においても、費用対効果や適時性等を見極めながら厳選のうえ実施する。 ①健康まちづくりサポーター養成講座については、本年は参加者募集が難しいため中止とする。②及び③についてはフォローアップ研修を中心に予定どおり行う。
今年度実施予定事業内容（地震後）	①健康まちづくりサポーター養成講座を中止する。 ②「健康まちづくり推進員協議会」の運営支援を行う。 ③健康まちづくり推進員の<u>フォローアップ研修</u>を中心に活動の支援を行う。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

保健子ども課

事業名	健康まちづくり活性化経費【新規】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	平成24年度から、誰もが住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らし続けることができるよう小学校区を単位とした健康をテーマにしたまちづくりに取り組んでおり、それを推進する健康まちづくりサポーターを養成してきた。 今後は、各校区が主体的に健康まちづくりを推進していくためには、健康まちづくり推進員が核となり、多くの住民が楽しく参画できる取り組みが必要である。	
過去の実施状況・課題	- 平成25年度から「健康まちづくりサポーター養成講座」を開講 - 平成27年6月、養成講座の修了生が健康まちづくり推進員となり「健康まちづくり推進協議会」を設立 - 健康まちづくりサポーター及び健康まちづくり推進員によるイベント等での健康づくり啓発の実施	
今年度実施予定事業内容（地震前）	①健康まちづくり推進員とともに、他都市の健康まちづくりの<u>先進地視察</u>を行い、校区で推進できる方法等を学ぶ。 ②健康まちづくり推進員を中心に、住民が大勢参加し楽しめるような校区の健康まつりを企画・実施する。 ③気軽に健康チェック（血圧測定）ができ、住民の健康意識を高める環境の整備を行う。スポットタイプ自動血圧計を東区役所に常設。	

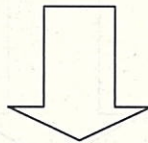


見直しの考え方	【基本方針】新規・拡充事業（単独事業）は、原則として中止・凍結する。 ・先進地視察については来年度以降に先送りし、その他の業務については可能な限り実施する。
今年度実施予定事業内容（地震後）	①今年度の<u>先進地視察</u>については中止する。 ②施設や地域役員等被災後の地域の実情にあわせ、可能な校区や地域においては、健康まちづくり推進員との協働により、住民が参加し楽しめるような校区イベントに健康ブース等を設置する。 ③スポットタイプ自動血圧計を東区役所に常設する。

平成28年度 東区まちづくり推進事業実施予定内容

東農業振興課

事業名	東区農業者ネットワークづくり推進経費【継続】	
東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	5 暮らしやすく活気あふれるまち
	重点的テーマ	1 地域に根ざした経済の活性化
現状・背景・地域ニーズ	農業は高齢化、後継者不足、内外価格差等の大きな課題をかかえ、また特に東区にあっては住農混在が進み、住民の理解が得られないと農業がやりづらい状況になっている。このような状況の中で、今後の農地・農業関係を見据えながら家族経営、小規模経営への影響等を考慮に入れ、足腰の強い地域農業の確立を図っていく必要がある。	
過去の取り組み状況・課題	東区の若手農業者のネットワーク「東区アグリネット」に対し、市民との交流の場の提供や経営研修の開催支援等を行った。 会員数は平成26年2月発足時の63名から平成28年8月現在72名に増加し、事業推進が円滑に行えるようになった。また、会員数増加により即売会の出品も充実してきており、周辺住民からも好評で開催を待たれる声も聞かれるようになった。	
今年度実施予定事業内容 (地震前)	① 農業者の支援 経営研修会の開催 座学5回・視察研修2回 ② 市民との交流会の開催 即売会の開催 春2回 秋2回 イモ掘り収穫体験の開催 ③ 東区未来の農業を考える検討会の開催	



見直しの考え方	【基本方針】イベントなどは、必要な見直しを行う。 農業者の震災復旧を優先し、経営研修会及び即売会の開催回数を縮減し、イモ掘り収穫体験については中止する。
今年度実施予定事業内容 (地震後)	① 経営研修会の開催を見直し → 座学3回・視察研修1回 ② 即売会の開催を見直し → 秋2回 ③ 東区未来の農業を考える検討会については、震災を受けて改めて将来を見据えた検討を行う。